

「老人六歌仙画賛」と「涅槃図」

— 仙厓の隠居生活を読み解く二つの作品をめぐって



仙厓最晩年の生活と作画活動についてとりあげた今回の展覧会を代表する作品といえば、「老人六歌仙画賛」と「涅槃図」があげられるでしょう。前者は自らも年を重ね、老境に至った仙厓が「老い」というものに対して今一度考え、出した答えです。一方、斎藤秋圃筆の「涅槃図」は自筆の作品ではありませんが、自身の死をテーマに描かれた作品です。「生・老・病・死」という四つの仏教の根本テーマの内、「老」と「死」という二つについて取り組んだ仙厓ゆかりの作品をとりあげ、晩年の仙厓の境地 — 深い仏教理解に基づいたユーモアの世界について考えてみたいと思います。

講師：八波浩一(出光美術館学芸課長代理)

成城大学大学院文学研究科・美術史専攻博士課程後期。主に中国・日本の古代美術、および仙厓をふくむ仏教美術担当。

「祈りのかたち — 仏教美術入門」(2017年)、「大仙厓展 — 禅の心、ここに集う」(2016年)、「宗像大社国宝展」(2014年)などの展覧会を企画。

講座スケジュール

2018年 10月22日(月)

① 午前10時30分～12時30分 (入場午前10時より 閉場午後1時30分)

② 午後2時～4時 (入場午後1時30分より 閉場午後5時)

- * いずれも講座の内容は同じです。
- * 講義レベルは、大学での講義に準じます。
- * 各回とも講座のなかで、煎茶とお菓子の休憩時間を設けております。

募集人員： 各回 先着30名
(定員になり次第締め切らせていただきます)

受講料： 2,500円 (入館料・資料代/煎茶・菓子付)

会場： 出光美術館
東京都千代田区丸の内3-1-1 帝劇ビル9階
(出光美術館専用エレベーター9階)

申込方法： 当館ミュージアムショップにて事前にお申し込みください。
* 電話等での申し込みはお断りしております。



- * お申し込み時に講座日時指定の受講票をお渡しいたします。当日ご持参の上、美術館受付にてご提示ください。
- * お申し込み後の変更、キャンセルはお受けできませんので予めご了承ください。
- * その他、ご質問等ございましたら、出光美術館学芸課内、特別講座事務局までお問い合わせください。